

技術に翔る

わかりやすい視点で効果を明確化

北陸地方整備局富山河川国道事務所から受託した平成30年度富山管内交通解析検討業務に管理技術者として携わり2018年度完成業務の優良建設技術者事務所長表彰を受賞した。「まずは驚き、その後じわじわとうれしき、そして、技術者として努力し続けようというやる気を感じています」と喜びを語る。

業務は富山河川国道事務所管内の道路事業に関し、交通量推計や費用便益分析、ビッグデータ分析などをさまざまな

大日本コンサルタント技術部地域交通計画室主幹

酒井 信次氏



検討を通じて、事業の必要性やその効果を明確にすることが主な目的だった。

事業の必要性や効果の明確化に当たっては道路に求められる役割が多様化していることから「渋滞や事故の視点に

選定理由では、膨大なデータを収集分析し道路事業の必要性をわかりやすく明確に整理する能力や、発注者との密な調整と迅速な対応が求められる中、「業務遂行中急ぎよ、新規事業個所に関する業務の追加などが生じたが、業務の効率化などの提案を行い限られた期間内に良好な成果を収めた」とたたえている。

加え、物流や医療、防災などより生活に近く道路利用者にわかりやすい視点を確保することが求められた」と振り返る。

そこで、ETC2・Oプロップ情報や商用車プローブデータを集計し、「市街地部への通過交通流入状況など混雑要因を詳細に分析した」。また、物流車両の道路利用状況の把握（主要物流経路の特定）、物流経路での混雑時・非混雑時別所要時間の変化などを定量的に整理した。